

「2018年度 著書出版・海外学会等 参加助成」および 「第8回Nextcom論文賞」受賞者

2018年度 著書出版助成 受賞者 (五十音順) 助成金：各200万円

本助成は、情報通信に関する社会科学分野の学術出版を助成し、優れた研究成果の公的な流通を支援するものです。受賞者は、Nextcom監修委員会の推薦に基づき、公益財団法人KDDI財団が決定しています。2018年度は、以下の方々が受賞し、2019年2月12日に決定通知書が交付されました。

浅井 澄子 氏 (あさい すみこ) 明治大学 政治経済学部 専任教授

書名 『書籍市場の経済分析』

概要 情報通信技術の書籍市場への影響、ジャンル別書籍需要と価格の決定要因ならびに日米比較、書籍の購入パターン、販売と図書館との関係についての実証分析を通じ、日本の書籍市場の特徴と問題点の指摘、改善策を提言。



菊盛 真衣 氏 (きくもり まい) 立命館大学 経営学部 准教授

書名 『インターネット・クチコミと消費者行動』

概要 現代の消費者にとって重要な情報源であるインターネット上のクチコミ(eクチコミ)が、情報の受け手である消費者にいかなる影響を与えているのかをマーケティングおよび消費者行動の観点から分析。



寺田 麻佑 氏 (てらだ まゆ) 国際基督教大学 教養学部 准教授

書名 『先端技術と規制の公法学』

概要 情報通信分野の規制機関の在り方や先端技術への行政の関わり方について、公法学の観点から分析を行い、政策提言を行うもの。先端技術を巡る国家の役割や行政組織と技術の在り方等について提言した上で、先端技術が関係する社会のさまざまな変化を捉え、個人情報保護等、欧州等の議論も紹介し、政策提言。



2018年度 海外学会等参加助成 受賞者 (助成決定順)

海外で開催される情報通信に関わる国際会議、シンポジウムなどに参加する方を主な対象に、渡航費用などを助成するものです。受賞者はNextcom監修委員会の推薦に基づき、公益財団法人KDDI財団が決定しています。2018年度の受賞者には、以下の3名の方々が決定され、2019年2月12日に決定通知書が交付されました。



● 遠山 紗矢香 氏
(とおやま さやか)

静岡大学 情報学部 助教

対象学会: Constructionism 2018
(2018年8月20日～25日 リトアニア)



● チェン, ジョン・ウィリアム 氏
(CHENG, John William)

早稲田大学 政治経済学部 講師

対象学会: 29th European
Conference of the International
Telecommunications Society
(2018年8月1日～4日 ドイツ)



● 劉 佳 氏
(りゅう か)

国立政治大学(台湾) コミュニケーション
／メディア 博士後期課程

対象学会: PTC(Pacific
Telecommunication Council)2019
(2019年1月20日～23日 米国ハワイ
州)

第8回Nextcom論文賞 受賞者 副賞：30万円

Nextcom論文賞は、若手研究者の方々を奨励するために設けられています。第8回の受賞者は、2017年12月のWinter号(Vol.32)から2018年Autumn号(Vol.35)までの1年間に、本誌に掲載された、45歳以下の著者による論文を対象に、Nextcom監修委員会が選考・決定しました。受賞者には、2019年2月12日、株式会社KDDI 総合研究所から表彰状と副賞(30万円)が授与されました。

大木 良子 氏(おおき りょうこ) 法政大学 経営学部 准教授

受賞論文 「オンラインプラットフォームと競争」
(Nextcom Vol.33, pp12-21 掲載)

概要 二面性とデジタル、二つの特性がオンラインプラットフォーム産業における市場支配力の形成の可能性も高めている一方で、イノベーションの実現頻度も高めている。オンラインプラットフォームの静学的・動学的競争の仕組みを理解し、蓄積されつつある事例を丁寧に分析し議論することは、見通しのよい競争のルール作りにつながる。

